

E9 山陰道 ^{みすみ}三隅・^{ますだ}益田道路（^{いわみみすみ}石見三隅IC～^{とおだ}遠田IC）の
開通3ヶ月後の状況をお知らせします！

令和8年3月28日（土）に開通した、E9山陰道 三隅・益田道路（石見三隅IC～遠田IC）について、開通3ヶ月後の交通状況、地域の皆様の声をお知らせします。

■概要

○山陰道の交通状況

⇒国道9号の交通が約6～8割減少し、山陰道へ交通が転換！

○通学時の安全性向上

⇒山陰道に交通が転換したことにより、通学時の安全性が向上！

○救急搬送活動を支援

⇒浜田市の三次救急医療機関への搬送時間が短縮し、患者への負担も軽減！

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

＜お問い合わせ先＞ 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所
副所長（道路） 庄司 彰（しょうじ あきら）

（ 担 当 ）

調査設計課長 難波 誠（なんば まこと）

TEL 0855-22-3129（調査設計課 直通）

URL <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

浜田河川国道事務所では、X（エックス）による情報発信を行っています。

浜田河川国道事務所X：https://x.com/mlit_hamada



山陰道 石見三隅IC～遠田ICの開通3か月後の交通状況

- 開通3か月後の山陰道・国道9号の利用交通量は、平日では約12,700～13,600台、休日では約12,200台～12,400台でした。
また、国道9号と山陰道の利用割合では、約6～8割を山陰道が占める結果となりました。

位置図

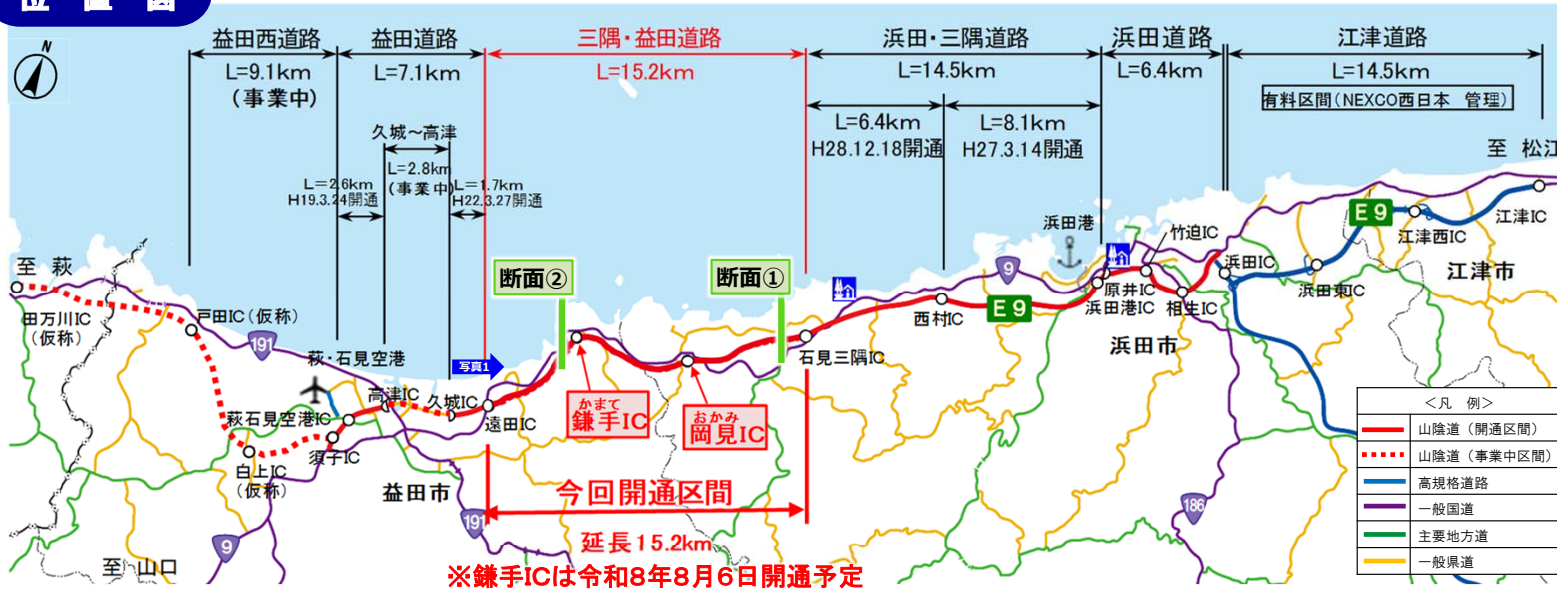
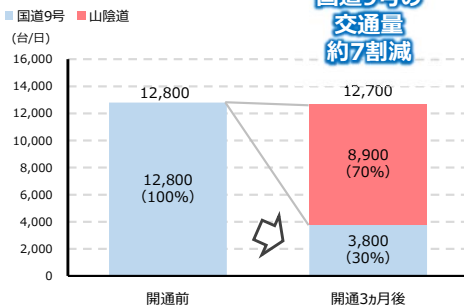


写真1 三隅・益田道路利用状況 (遠田IC付近)

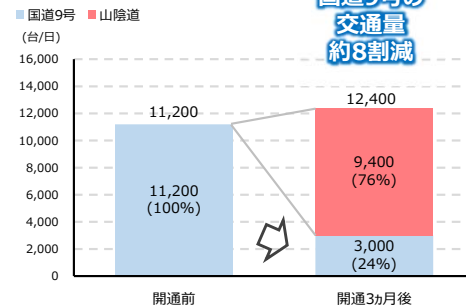
国道9号と山陰道の開通前後における交通量の比較

断面② 岡見IC～遠田IC

＜平日＞



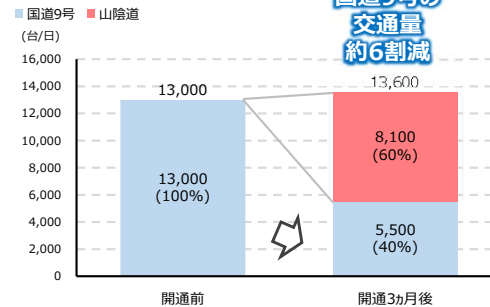
＜休日＞



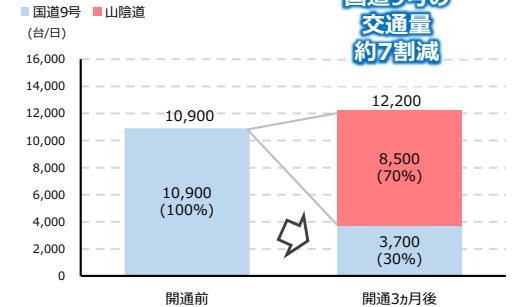
※交通量調査 開通前：平日 R7.9.11(木) 休日 R7.9.7(日) 開通3か月後：平日 R8.6.23(火) 休日 R8.6.28(日)

断面① 石見三隅IC～岡見IC

＜平日＞



＜休日＞



※交通量調査 開通前：平日 R7.9.11(木) 休日 R7.9.7(日) 開通3か月後：平日 R8.6.23(火) 休日 R8.6.28(日)

通学時の安全性向上・救急搬送を支援

- 山陰道石見三隅IC～遠田IC開通後の状況について、周辺の小学校・中学校・消防局にヒアリングを実施しました。
- 小学校・中学校からは「国道9号の交通量が減り、通学時の安全性が向上した」、「学校行事や研修に行きやすくなる」など、消防本部からは「搬送時間が短縮されたほか走行性が向上した」「代替路が確保された」などの意見がありました。



〈安田小学校の声〉

(R8.5 ヒアリング調査結果)

- 約3割の児童が国道9号を通行して通学している。
- 三隅・益田道路の供用以前は、大型車や速度の高い車が多く、児童や保護者から怖いという声があった。
- 三隅・益田道路の供用後は**国道9号の交通量が大きく減少**し、**安全性が向上**したと感じる。
- 県立少年自然の家（江津市）での**学校行事**や、**教員の研修施設**（浜田市）への移動がスムーズになることを期待している。



〈東陽中学校の声〉

(R8.5 ヒアリング調査結果)

- 約8割の生徒が国道9号を通行して通学しており、自転車でも通学する生徒もいる。
- 三隅・益田道路の供用以前は、国道9号から学校につながる交差点で、国道9号を横断したい生徒と、沿道からの右左折車両が接触する事故もあった。
- 三隅・益田道路の供用後は**国道9号の交通量が大きく減少**し、**安全性が向上**したと感じる。
- 職員の通勤時間が短縮されている。**鎌手ICの整備にも期待**している。



〈消防本部の声〉

(R8.7 ヒアリング調査結果)

- 三隅・益田道路の供用後、浜田医療センター、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院など**東部への搬送は7月中旬までに18件発生**している。**搬送件数は近年増加傾向**にある。
- **所要時間が短縮**されているほか、国道9号と比べ勾配やカーブが少なく**安定した速度での搬送**ができるため、**患者への負担が軽減**された。
- 国道9号は事故や災害が発生した際に、迂回路が限られているという課題があったが**新たに代替路が確保された**。

